

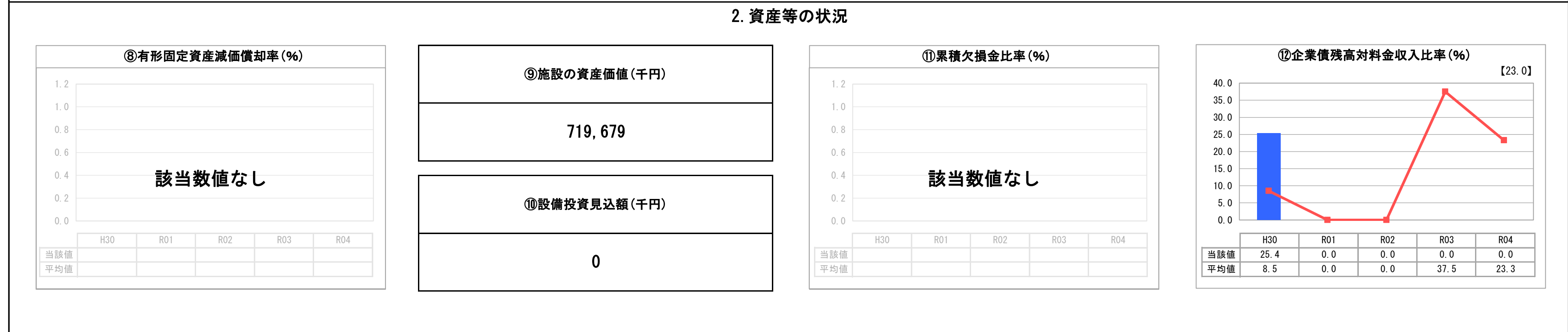
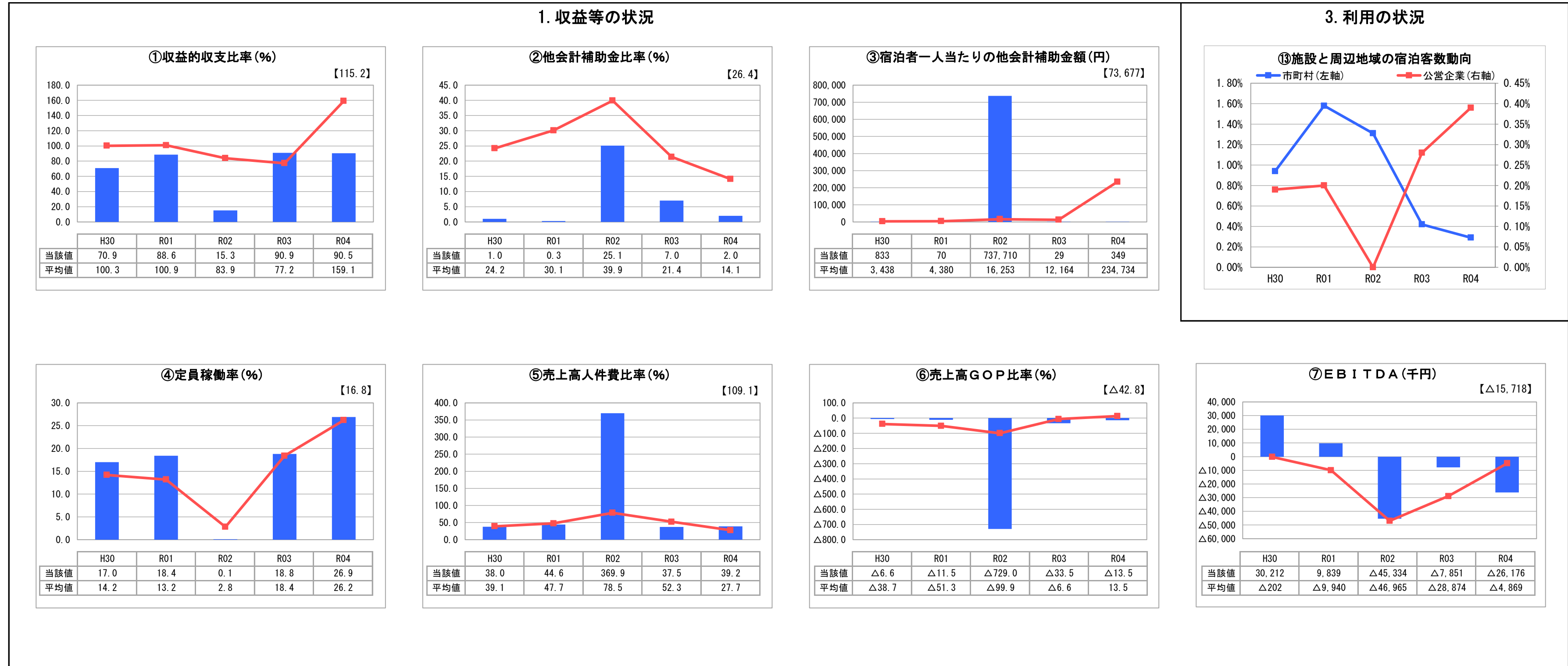
# 経営比較分析表（令和4年度決算）

宮崎県 宮崎県営国民宿舎 えびの高原荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	4,112	130	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
11,754	利用料金制	70.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	75.4	有

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
【	令和4年度全国平均



### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率  
 旅行キャンペーン等の効果もあり、コロナ禍前（R1）の数値を上回っている。  
 ②他会計補助金比率  
 施設整備等のため一般会計から繰入を行っているが、前年度より約5%下回っている。  
 ③宿泊者一人当たりの他会計補助金額  
 前年度並みであり、全国平均を大きく下回っている。  
 ④定員稼働率  
 旅行キャンペーン等の効果もあり、コロナ禍前（R1）の数値を上回っている。  
 ⑤売上高人件費比率  
 前年度並み。  
 ⑥売上高GOP比率  
 前年度並み。  
 ⑦EBITDA  
 前年度と比べて営業収益は横ばいであるが、一般会計繰入金と比して施設修繕経費が増えたことなどにより18,325ポイント減っている。

**2. 資産等の状況について**  
 ⑫企業債残高対料金収入比率  
 R01で企業債の償還は終了したところであるが、必要な更新・投資を行うための財源確保に向けた検討は必要である。

**3. 利用の状況について**  
 ⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向  
 えびの市の宿泊者数に占める当施設の宿泊者数の割合は、コロナ禍前と比べても高い水準にある。自然景観に恵まれた立地環境やグランピングの取組等が、コロナ禍における旅行者のニーズに対応できているためだと考える。

**全体総括**  
 新型コロナウイルスの影響はあるものの、指定管理者の営業努力や旅行キャンペーンの効果等もあり、定員稼働率などについてはコロナ禍前の数値を上回ったところ。  
 引き続き、指定管理者に対して適切な指導・助言を行うことにより、施設利用者の増加を図るためのサービス向上や収支の改善に取り組む必要がある。